



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5603 URL <https://www.kogi.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	19,535	1.0	950	67.3	977	98.8	678	75.4
2024年3月期第3四半期	19,348	△1.2	568	8.6	491	6.5	386	33.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 736百万円 (△50.8%) 2024年3月期第3四半期 1,495百万円 (29.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	207.45	—
2024年3月期第3四半期	118.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	33,520	17,383	41.6	4,261.38
2024年3月期	35,249	16,843	38.4	4,134.60

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 13,934百万円 2024年3月期 13,519百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,350	1.5	1,100	39.9	1,080	51.1	730	35.6	223.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	3,362,163株	2024年3月期	3,362,163株
2025年3月期3Q	92,311株	2024年3月期	92,287株
2025年3月期3Q	3,269,854株	2024年3月期3Q	3,269,876株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費やインバウンド需要により緩やかな回復基調を維持しました。一方で、ウクライナや中東情勢の長期化による原材料や原油価格の高騰、中国の景気減速など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このようなもとで当社グループは、2022年度を初年度とする第7次3カ年計画の3年目にあたり、『C&Eへのこだわり』をキーワードに、①脱炭素社会に向けて、②DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、③人材育成、の3点を重点課題に設定し、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化に努めてまいりました。

なお、2024年4月16日に発生しました「兵庫県南西部を中心とする雹」により、工場建屋等の毀損による物的被害が発生しており、その災害による損失見込み額及び損失確定額を特別損失として計上しております。また、この災害に対する受取保険金を特別利益として計上しております。

このような事業環境において当社グループは、原材料高騰への対応として製品の販売価格是正による収益の確保ならびにコスト改善諸施策の一層の推進に努めたことに加え、株式会社小口合金鋳造所の業績を連結範囲に含めたことで、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 195億3千5百万円(前年同期比 1.0%増)、営業利益 9億5千万円(前年同期比 67.3%増)、経常利益 9億7千7百万円(前年同期比 98.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 6億7千8百万円(前年同期比 75.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① Casting Field

鋳型は、造船向け鍛造用鋳型が堅調であった一方で、特殊鋼用鋳型の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期並みで推移しました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカー、国内電炉メーカー向け案件や輸出案件が好調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内主要カーメーカーの新車開発計画により受注が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。大型産業機械用鋳物は、中国経済の減速、世界的な地政学リスクにより各主要顧客先の需要が低迷し、売上高は、前年同期を下回りました。小型鋳物は、土木用鋳物が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。デンスバーは、主要顧客先の建設機械および産業機械向け等の需要が伸び悩みましたが、価格是正による収益確保に努め、売上高は、前年同期並みで推移しました。中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司および南通虹岡鋳鋼有限公司は、主要顧客先からの受注が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。昨年度より新たに連結子会社となった株式会社小口合金鋳造所は、半導体製造装置向けの需要が好調で、売上高は、順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、175億6千9百万円(前年同期比 13.0%増)、セグメント利益 10億6千1百万円(前年同期比 133.3%増)となりました。

#### ② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、大型案件の工事が前連結会計年度までに完了しており、次期大型案件として徳島県海部郡との間でごみ処理施設38億円の仮契約締結に至ったものの、業績への寄与は来期以降となり、売上高は、前年同期を大きく下回りました。送風機は、ごみ焼却炉向けが堅調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、半導体関連向けの需要が低調で、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、13億4千6百万円(前年同期比 58.7%減)、セグメント損失 △2千万円(前年同期 セグメント利益 1億6千3百万円)となりました。

#### ③ Environment Field・機能材料

KCメタルファイバーは、海外向けの自動車用摩擦材や鉄道・耐火材・産業用摩擦材の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、6億2百万円(前年同期比 16.8%増)、セグメント利益 4千万円(前年同期 セグメント利益 2百万円)となりました。

#### ④ その他の事業

当事業の売上高は、1千6百万円(前年同期比 13.8%減)、セグメント損失 △0百万円(前年同期 セグメント損失 △3百万円)となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、203億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億7千9百万円減少いたしました。これは、主として現金及び預金が7億7千7百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が18億1千1百万円、電子記録債権が3億1千4百万円減少したことなどによります。

固定資産は、131億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千9百万円減少いたしました。これは、主として機械装置及び運搬具が3億5千9百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、335億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ17億2千8百万円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、123億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ18億4千5百万円減少いたしました。これは、主として短期借入金が16億6百万円減少したことなどによります。

固定負債は、37億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2千3百万円減少いたしました。これは、主として長期借入金が4億6百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、161億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億6千9百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、173億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億4千万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は41.6%（前連結会計年度末は38.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、本日発表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、国内鋳物事業において、コスト改善のための諸施策の進捗と製品の販売価格是正による収益の増加が見込まれることと、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司および南通虹岡鋳鋼有限公司の業績において、中国国内の事業環境が厳しい中、一部主要顧客の業況が活発であり、その受注を確保した結果、売上収益が予想に比し、順調に推移することが見込まれることで、売上高、利益とも前回発表の予想を上回る見通しであるため、上方修正しております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,643	3,420
受取手形、売掛金及び契約資産	12,168	10,357
電子記録債権	2,574	2,259
商品及び製品	1,445	1,481
仕掛品	1,263	1,320
原材料及び貯蔵品	1,435	1,305
その他	93	197
貸倒引当金	△1	—
流動資産合計	21,622	20,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,927	2,848
機械装置及び運搬具(純額)	3,859	3,499
土地	1,256	1,256
その他(純額)	1,436	1,577
有形固定資産合計	9,479	9,182
無形固定資産		
のれん	143	125
その他	302	302
無形固定資産合計	446	428
投資その他の資産		
投資有価証券	3,565	3,410
長期貸付金	2	4
繰延税金資産	5	7
その他	127	143
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,701	3,566
固定資産合計	13,626	13,177
資産合計	35,249	33,520

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,930	3,004
短期借入金	8,752	7,146
未払法人税等	159	91
賞与引当金	307	141
役員賞与引当金	13	—
災害損失引当金	—	94
その他	2,052	1,892
流動負債合計	14,216	12,370
固定負債		
長期借入金	2,970	2,563
繰延税金負債	891	914
退職給付に係る負債	54	26
その他	273	261
固定負債合計	4,189	3,766
負債合計	18,405	16,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	8,166	8,648
自己株式	△98	△99
株主資本合計	10,672	11,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,790	1,685
繰延ヘッジ損益	△4	△7
為替換算調整勘定	770	863
退職給付に係る調整累計額	290	238
その他の包括利益累計額合計	2,847	2,779
非支配株主持分	3,323	3,449
純資産合計	16,843	17,383
負債純資産合計	35,249	33,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	19,348	19,535
売上原価	16,699	16,198
売上総利益	2,648	3,336
販売費及び一般管理費	2,080	2,386
営業利益	568	950
営業外収益		
受取利息及び配当金	97	123
増値税還付金	—	46
その他	47	38
営業外収益合計	144	209
営業外費用		
支払利息	88	101
支払手数料	68	31
その他	63	49
営業外費用合計	220	182
経常利益	491	977
特別利益		
受取保険金	—	205
投資有価証券売却益	—	62
特別利益合計	—	268
特別損失		
災害による損失	—	154
災害損失引当金繰入額	—	94
特別損失合計	—	248
税金等調整前四半期純利益	491	997
法人税、住民税及び事業税	57	188
法人税等調整額	117	93
法人税等合計	174	282
四半期純利益	317	715
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△69	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	386	678

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	317	715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	492	△105
繰延ヘッジ損益	△3	△3
為替換算調整勘定	503	181
退職給付に係る調整額	186	△52
その他の包括利益合計	1,178	21
四半期包括利益	1,495	736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,319	610
非支配株主に係る四半期包括利益	176	125

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することとしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,139百万円	1,098百万円
のれんの償却額	－百万円	17百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	15,462	—	—	15,462	—	15,462	—	15,462
環境エンジニアリング・環境	—	2,259	—	2,259	—	2,259	—	2,259
環境エンジニアリング・機械	—	936	—	936	—	936	—	936
機能材料	—	—	515	515	—	515	—	515
ソーラー	—	66	—	66	—	66	—	66
その他	88	—	—	88	18	107	—	107
顧客との契約から生じる収益	15,551	3,262	515	19,329	18	19,348	—	19,348
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,551	3,262	515	19,329	18	19,348	—	19,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	15,551	3,262	515	19,329	18	19,348	△0	19,348
セグメント利益又は損失(△)	455	163	2	621	△3	618	△126	491

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△126百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社  
管理部門にかかる費用が△157百万円、営業外収益が144百万円、営業外費用が△113百万円含まれて  
おります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。

## Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	17,493	—	—	17,493	—	17,493	—	17,493
環境エンジニアリング・環境	—	362	—	362	—	362	—	362
環境エンジニアリング・機械	—	904	—	904	—	904	—	904
機能材料	—	—	602	602	—	602	—	602
ソーラー	—	79	—	79	—	79	—	79
その他	76	—	—	76	16	92	—	92
顧客との契約から生じる収益	17,569	1,346	602	19,519	16	19,535	—	19,535
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,569	1,346	602	19,519	16	19,535	—	19,535
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	17,569	1,346	602	19,519	16	19,535	△0	19,535
セグメント利益又は損失(△)	1,061	△20	40	1,081	△0	1,081	△103	977

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△103百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△197百万円、営業外収益が162百万円、営業外費用が△68百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。